

ファイナルレポート
第 11 回 国際電子部品・アセンブリ・マテリアル専門見本市・会議
第 11 回 国際電子部品製造技術専門見本市・会議
Bangalore International Exhibition Center – BIEC (インド・バンガロール)
2010 年 9 月 7 日～10 日

Summary

- 出展社、来場者、出展スペース → 前回より増加
- 出展社の 42% が次回 2011 年の見本市に申込済
- 次回は場所をニュー・デリーに移して開催！

Facts & Data

会 期	2010 年 9 月 7 日(火)～10 日(金) 午前 10 時～午後 6 時(最終日のみ午後 5 時まで)
会 場	Bangalore International Exhibition Center – BIEC (インド・バンガロール)
主 催	MMI - メッセ・ミュンヘン・インターナショナル
規 模	13,000 m ² (2009 年:12,000 m ²)
出 展 企 業	25 ヶ国より 869 社 (2009 年: 25 ヶ国より 825 社)
来 場 者 総 数	12,245 人
主 な 出 展 品	<p><電子部品・アプリケーション> 半導体全般、パワー半導体部品、エンベデッドシステム、センサー、MEMS、リレー、スイッチ、配線技術、受動部品、モーター、駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、マイクロ波技術、ディスプレイ、パワーサプライ</p> <p><製造機器・技術> 材料加工、部品製造、回路基材装置製造、ケーブル加工技術、はんだ付け技術、アセンブリ・モジュール・ハイブリッド用物流管理・装置製造、半製品・完成品用検査・測定技術、各種オペレーティング機器、製造サブシステム、関連サービス</p>
出展日系企業 (現地法人・ 代理店出展含)	<p>アイパルス(株)、アポロ精工(株)、(株)石井表記、(株)イトー、伊藤忠商事(株)、上村工業(株)、FDK(株)、(株)エルム・インターナショナル、(株)エンジニア、(株)沖センサデバイス、オムロン(株)、京セラ(株)、(株)弘輝、(株)弘輝テック、コーデンシ(株)、(株)サヤカ、(株)サンコウ電子研究所、三洋電機(株)、シンド静電気(株)、シムコジャパン(株)、(株)島津製作所、シャープ(株)、(株)ジャパンユニックス、庄田鉄工(株)、信越化学工業(株)、進工業(株)、JUKI(株)、セラコート工業(株)、ソニーマニュファクチャリングシステムズ(株)、太洋電機産業(株)、タカヤ(株)、TDK(株)、TDK-EPC(株)、(株)トーメンエレクトロニクス、東テック(株)、東洋リビング(株)、東洋通信機(株)、トミタ電機(株)、(株)ニコン、日本アビオニクス(株)、(株)日本スペリア社、(株)ノイズ研究所、白光(株)、伯東(株)、富士機械製造(株)、富士高分子工業(株)、富士通(株)、富士通コンポーネント(株)、富士フィルム(株)、双葉電子工業(株)、本多電子(株)、マイクロクラフト(株)、(株)マルコム、(株)ムラキ、(株)村田製作所、三菱電機(株)、ミナミ(株)、武蔵エンジニアリング(株)、ヤマハ発動機(株)、UHT(株)、(株)ユーコンコーポレーション、ユニオンツール(株)、ローム(株) 他</p>
専 用 U R L	www.electronicindia.net (英語)

2010 年 9 月 7 日から 4 日間に渡り electronica India / productronica India が、インド・バンガロールで開催され、電子部品、アセンブリ、材料、電子部品製造におけるインド最大の見本市として、国内外から圧倒的な好反響を受けた。

今回の出展社数は、前回より 21%増え 869 社にのぼった。また出展スペースは前回比 30%増の 13, 000 m²と大きく拡大した。来場者数も前回より 18%増え 12, 245 人で、質の高い来場者が多かったことから、会期中に多くの商談がまとまったり、引き合いの数が増えたりした出展社が多かった。その他、パートナーのインドプリント基板協会(IPCA)の出展スペースは前回より 55%増え、業界の好成長をアピールした。

今年も 25 ヶ国から出展があり国際色の強い見本市となったが、中でも日本、スイス、USA、イタリア、スペイン、韓国、マレーシア、香港からの出展が顕著だった。また、ドイツ、UK、中国、シンガポール、台湾のパビリオンも国際色を強める要素となった。今回も、Agilent Technologies、ASYS Group、NXP、RS Components、TATA Power、TYCO Electronics、Infineon、TDK、TDK-EPC、ソニーマニュファクチャリングシステムズ(株)など、業界をリードするグローバル企業が顔を揃えた。

今年の特別フォーカスエリアは LED で、展示と並行して 2 つの専門会議が開催された。1 つは 9 月 7 日に開催された「受託製造における会議: インド市場の全体像」で、National Instruments、Indium Corporation、Atotech、Firan Technology、HCL Technologies、(株)日本スペリア社などが最近の動向や最新技術、インド EMS/受託製造業界におけるビジネスチャンスや要件などについて議論した。

2 つめは 9 月 8 日に開催された「カーエレクトロニクスにおける動向と今後の要件についてのシンポジウム」で、Freescale、Infineon、TYCO Electronics、AUTOSAR、NXP、TATA Motors などがスピーチをし、145 人以上が参加した。

今回出展社の 42%がすでに来年の electronica India 2011 / productronica India 2011 への出展を申し込んでいることから、今回の成果の高さを伺うことができる。メッセ・ミュンヘン・インターナショナル、副 CEO のノールベルト H.バークマンは「今回の盛況を見る限り、インドは世界各国の企業にとって重要な港となっていることが明白だ。インドはもっとも急成長を遂げている国の一つで、国際的な見本市会場においては特にその気運を感じることができる」と話している。

次回は、2011年9月13日から16日に、Pragati Maidan(ニュー・デリー)に場所を移して開催する。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.electronica-india.com まで。

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内
Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: info@messe-muenchen.jp
URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語 / ドイツ語)